

秋の石川は多彩な魅力満載

開創七百年
大本山總持寺祖院

記念行事が目白押し。の禅の里へ

元亨元年（1321）に創建された大本山總持寺祖院は今年、開創700年を迎えます。明治の大火を受け大本山が横浜に移つてからは、焼失をまぬがれた伝燈院、慈雲閣、経蔵、再建された七堂伽藍とともに祖院として往時の面影と歴史を伝えてきました。14年前の能登半島地震で被災したものの、この春に修復工事が完了。威風堂々たる姿を取り戻しました。

節目となる今年は、大本山總持寺祖院を中心に地域でさまざまな行事が盛大に催されます。今秋新登場する定期観光バス「能登路」は、祖院の参拝のほか奥能登の名所も合わせて巡ることができて便利です。また、山門でのデジタルアートや稚児行列・僧侶行列といった記念イベントなども行われるので、レンタカーを利用し、時間を忘れ、自由気ままに奥能登の禅の里を訪ね、700年の歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



① 檜造りの山門は高さ17.4m、間口20m、奥行14.4m。正面の「諸聖山」の扁額は加賀藩前田家16代利為の筆によるもの。② 開祖・堂山禪師を祀る法堂。装飾や彫刻が見事。

開創七百年慶讃法要
御両尊御征忌会

開創七百年への慶賀を表す慶讃法要が、大本山總持寺祖院にて営まれます。また、慶讃法要にあわせ、開祖・堂山禪師と二世の峯山禪師の開山忌が行われます。

期 9月12日(日)～16日(木)

ぜんものきらめき

山門でのプロジェクションマッピングなど多彩なイベントを祖院周辺で開催。

- 期 ■プロジェクションマッピング 9月1日(水)～30日(木)
■全国曹洞宗青年会イベント(坐禅・写経体験等) 9月11日(土)～12日(日)
■市民まつりコラボイベント 9月11日(土)
■稚児行列 9月12日(日)
■太鼓演奏 9月18日(土)～20日(月・祝)

大總持寺展

祖院そばの禅の里交流館など市内4会場で寺宝や資料を展示します。

期 ～2022年3月24日(木)

☎0768-42-0005

所 石川県輪島市門前町門前1-18甲
JR七尾駅から約40分、穴水駅下車、穴水駅前から北鉄能登バス穴水線で約35分、門前總持寺下車すぐ／JR金沢駅からレンタカーで約2時間／JR和倉温泉駅からレンタカーで約1時間

期 8:00～17:00 休 無休 料 拝観500円

■駅レンタカー-金沢営業所 ☎076-265-6639

■駅レンタカー-和倉温泉営業所 ☎0767-62-1373

詳しくは 大本山總持寺祖院 検索

【定期観光バス「能登路」】 總持寺祖院での催しによる案内や、塗り箸のプレゼントなど参加者特典があります。
☎0570-00-2424(西日本バス電話予約センター) 期 9月4日(土)～12月19日(日)の土・日曜、祝日運行
所 9:00JR金沢駅発→總持寺祖院、白米千枚田など→16:15輪島着→17:10和倉温泉着→19:00JR金沢駅着
料 JR金沢駅発着6,950円、JR金沢駅→和倉温泉6,600円、JR金沢駅→輪島6,150円



①孔雀文花瓶
②洋蘭文花瓶
③蓬萊之橋
④樹間に遊ぶ色絵飾皿

※①②バダベスト国立工芸美術館蔵 ③④石川県立美術館蔵

バダベスト国立工芸美術館名品展

世界でも数少ない国立工芸館であるハンガリー・バダベスト国立工芸美術館の所蔵品の中から、日本の工芸品に影響を受けた欧米の工芸品約170点を展示。金沢にある国立工芸館と同一エリアでの共演となる貴重な機会です。

期 8月15日(日)～9月12日(日)

うるはしきもの・めでたきわざ

北陸三県名品展

—北陸の芸術院会員・人間国宝—

北陸三県の日本芸術院会員や人間国宝の作品約100点を展示します。陶芸や漆芸、蒔絵、彫金など36作家の作品が一堂に展示される北陸初の展覧会です。

期 11月7日(日)～12月5日(日)

【展覧会共通情報】
所 石川県立美術館(石川県金沢市出羽町2-1)
期 JR金沢駅から西日本バスで約12分、広坂・21世紀美術館下車、徒歩約5分
期 9:30～18:00 休 期間中無休 料 観覧1,000円

●伝統的工芸品の展示販売会・ワークショップなど／10月15日(金)～17日(日) (しいのき緑地・迎賓館、国立工芸館前)

☎076-208-4162

(国際北陸工芸サミット問い合わせ事務局)

期 8月14日(土)～12月5日(日)

詳しくは 国際北陸工芸サミット 検索

国際北陸工芸サミット in 石川

北陸三県の工芸の魅力に触れる

北陸三県に受け継がれてきた多彩な工芸の魅力を世界に発信する「国際北陸工芸サミット」。2017年に富山でスタートし、今年は石川県が舞台となります。今回のテーマは「生活の中で活かす工芸」。北陸の人間国宝・日本芸術院会員の作品を展示する名品展や、伝統的工芸品の展示販売、ワークショップといった多彩な催しが繰り広げられます。

春蘭の里 農業体験

能登の里山暮らしを体験

日本海に面する棚田「白米(しろよね)千枚田」に代表されるように、日本の原風景があちこちに残る能登。この土地の暮らしや自然の恵みを体験できるのが「春蘭の里」です。のどかな里山に47軒の農家民宿があり、各宿1日1組の宿泊に加えて野菜収穫や魚釣り、炭焼きといった多彩な農家体験プログラムが用意されています。体験は日帰りでもOK。秋は稲刈りやキノコ狩りなどに挑戦でき、「能登はやさしや土までも」と称された土地柄が体感できます。

☎0768-76-0021(春蘭の里実行委員会事務局)
所 石川県能登町宇宮地16-9 期 JR和倉温泉駅からレンタカーで約1時間
料 【体験】きのこ狩り(9～12月)・稲刈り(9月)・魚釣り(ほか) 3名まで11,000円、以降1名3,300円増(材料、経費別)
【宿泊】泊朝食付7,150円～、1泊2食付11,000円～
■駅レンタカー-和倉温泉営業所 ☎0767-62-1373

詳しくは 春蘭の里 検索



世界農業遺産10周年

「能登の里山里海」は2011年、日本で初めて「世界農業遺産」に認定されました。10周年を迎える今年、それを祝つてさまざまなイベントを実施予定です。

詳しくは 能登の里山里海 検索

① 能登の里山に受け継がれてきた米作りを体験。9月頃には黄金色にした稲を刈る体験ができます。② 手つかずの自然が残る里で、能登ならではの体験ができます。

福井の美観や美食を堪能

若狭の古刹で紅葉を 心静かに楽しむ紅葉狩り



鎌倉時代中期に建立された重層入母屋造りの本堂と檜皮葺の三重塔。古木に囲まれて静かに歴史を伝えています。

思え立つようなモミシに彩られた庭園。深山の風を涼しめながら、境内をゆっくりと散策してみよう。

威風堂々たる国宝建築
大同元年(806)、征夷大將軍・坂上田村麻呂によって創建された明通寺は、若狭を代表する名刹として知られます。国宝の本堂と三重塔は鎌倉時代の建築で、三重塔は9月初旬から特別公開。本堂には重要文化財の本尊・薬師如来坐像をはじめ、平安時代後期の作とされる仏像が静かに安置されています。

境内のモミジが色づく、優美な伽藍と杉木立の緑に映え、鮮やかさが一層際立つよう。紅葉は11月中旬下旬に見頃を迎えます。

☎0770-57-1355

所 福井県小浜市門前5-21

期 JR小浜駅からあいのバス池内線で約25分、明通寺下車、徒歩約2分／JR敦賀駅からレンタカーで約50分

期 9:00～17:00 休 無休 料 拝観500円

■駅レンタカー-敦賀営業所 ☎0770-24-3702 詳しくは 明通寺 検索



若狭の古刹をめぐる
運行バス
9～11月
運行予定!

秋に味わいたい、
ふくいのブランド食材

旬の恵みを存分に満喫

「若狭ぐじ」

若狭湾で育まれた高級魚。若狭湾でとれたアカアマダイで、鮮度や姿形など厳しい基準をクリアしたものを「若狭ぐじ」とよびます。上品な甘みをたたえた白身魚で、高級食材としても知られます。鱬をつけたまま焼いた若狭焼きは絶品。



若狭焼きのほかに蒸し物や揚げ物などでも旨みを堪能できます。

「若狭ふぐ」

身の締まりと旨みが抜群。若狭湾は日本屈指のトラフグ養殖地。波穏やかな若狭湾は雪解け水により水温が低く、身が締まり旨みをたつぷりたためたトラフグが育ちます。旬は秋から冬にかけて。地元の料理店や旅館、民宿などで楽しめます。



てっさやてっちり、焼きフグ、唐揚げなど味わい方もいろいろ。若狭ぐじ・ふぐの食事処をココで検索!→



萬徳寺

モミジが彩る名勝庭園

前身となる寺は文永2年(1265)の文書にも登場する古刹で、名を改めたあと、江戸幕府の重臣でもあった小浜藩主・酒井忠勝の命で現在地に移転しました。その際に造られたのが、国指定名勝の埋石式枯山水庭園です。書院前に白砂が敷かれ、山の斜面を利用した庭園で曼荼羅を表現。庭園から境内には全域にわたって大小のモミジがあり、紅葉シーズンには朱に染まるモミジが楽しめる。「日本紅葉の名所100選」(日本観光協会選定)にも選ばれています。

☎0770-56-2308 所 福井県小浜市金屋74-23
期 JR東小浜駅から徒歩約30分／JR敦賀駅からレンタカーで約50分
期 8:30～17:00 休 無休 料 拝観400円

■駅レンタカー-敦賀営業所 ☎0770-24-3702

詳しくは 萬徳寺 検索



平安時代後期の作で重要文化財の本尊・木造阿弥陀如来坐像をはじめ、数多くの寺宝を所蔵しています。



大日如来を表す巨石を中心とした庭園。紅葉の時期はまるで絵巻物のような光景が広がります。



香ばしく焼き上げていただくのがおすすめ。酒の肴にもぴったりです。

「若狭がれい」

御食国若狭の至宝の一つ。若狭湾のヤナギムシガレイは皇室にも献上される一級品。旬を迎えた晩秋には、塩をして天日干したものが店頭並びます。軽くあふると、ほろほろと身離れもよく、ほどよい塩加減に際立つ旨みが口中に広がります。若狭小浜お魚センターで購入可能です。



若狭がれいをココで検索!→

「ふくい甘えび」

日本海の美味。濃厚な甘みが特長の甘えび。福井近海で漁獲してからセリまでが24時間以内、約12g以上の中サイズを「ふくい甘えび」と認定しています。卵を抱えた子持ち甘えびも人気。刺身はもちろん、唐揚げや汁物など調理方法は多彩です。



ふくい甘えびの食事処をココで検索!→